

めざせ！かみごうマスター！ ～ちいきの人とつながろう～ シーズン2

児童数 2年1組 25名 さとっこ2組 2名

つきたい実践力

1 単元の構想

知識・技能

思考・判断・表現

- ・自分の思いや願いをもとに見通しをもって学習に取り組む。
- ・これまで得た知識や経験を関連付けて、自分と地域の人々のつながりや地域の人々のよさに気付く。
- ・協働学習を通して自分と友達の気付きを比較し、良さを取り入れて自分の学びを広げる。
- ・自分達が調べたことを思考ツールやカードに整理しながら、地域の人々のよさを伝え合う。
- ・自分達の学習を振り返り、次の学習へつなげる。



	<u>主体的</u>	<u>協働的</u>	<u>自立的</u>
手立て	<ul style="list-style-type: none"> ・段階的な探究活動になるように、これまでの探検を振り返り、今回の探検で調べるポイントを明確にする。 ・今回調べることについて、分かっていること・分からないことを確認してから探検に臨めるように、これまで得た知識を視覚的に整理させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題解決に向けて協力するよさを味わわせるために、グループごとに役割を分担する。 ・まち探検で生まれた気付きに深まりや広がりが出るように、グループ内や学級全体で交流し、共通点や相違点を整理する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見通しをもった学習にするために、学習したことを次の単元で、本校1年生や万世小の2年生に伝えることを目指し、そのためにどんなことを調べればよいか考えさせる。 ・つながりのある学習になるように、振り返り場面で新たに生まれた思いや願い、問いを取り上げ、全体共有を図る。

2 単元の評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	<ol style="list-style-type: none"> ① 地域の場所に訪問し、インタビューする活動において、相手や場に応じた挨拶や言葉遣いをしている。 ② 地域の場所を訪問したり、聞いたことを整理しまとめたりする活動を通して、地域の人々のよさや思いに気付いている。 ③ 地域の場所を訪問したり、聞いたことを整理したりする活動を通して、地域の人々が自分達の生活を支えていることや楽しんでいることに気付いている。 	<ol style="list-style-type: none"> ① 行きたい場所やインタビューしたい人を思い描きながら、計画を立てたり探検での約束を決めたりしている。 ② 地域で見付けたことを自分の生活と関連付けながら、カードや学習シートに記録している。 ③ 自分の気付きと友達の気付きを比べながら、地域の人々や場所のよさを伝え合っている。 	<ol style="list-style-type: none"> ① 地域の人々についてさらに詳しく知りたいという思いをもち、探検に行こうとしている。 ② 課題解決のために必要なことをグループで話し合い、安全に探検しようとしている。 ③ 地域の人々の思いに触れ、これからも地域の人々と関わろうとしている。

3 単元について

昨年度は、「なかよし ～がっこう・ひと・しぜん～」というテーマのもと、上郷小学校や校内にいる教職員や友達、家族などの「ひと」、グラウンドや学校周辺の「しぜん」との関わりを通して体験からの気づきを重視しながら学習してきた。今年度は、学習対象を地域や地域の人に広げ、実際に見たり聞いたりしながら体験的な学習を進めている。

1学期の「めざせ！かみごうマスター！」の単元の初めには、自分の通学路を想起して、どんな建物や農地があるか、また、その場所にはどんな人がいて、どんな仕事をしているかを出し合うところから学習を広げていった。方面別のグループごとに場所や建物の中にある物に焦点を当てて探求し、地図やカードにまとめ、発表した。2学期から始めた本単元では、その場所で働く人に焦点を当て、その人々の思いやよさに気付けるようにしていく。すでに分かっていることを整理したウェビングマップを使って、新たに分かったことを書き足していく活動を通して、情報を分類・整理したり、理解を深めたりすることをねらっていく。また、分かっていることに偏りがあることに気付かせ、もっと知りたいことは何かを考える手立てとして活用していく。

次の単元では、学習してきたことを誰にどのように伝えるかを考えさせたい。さらに、同じ中学校区の万世小学校の2年生にも、上郷地区のよさを紹介する活動を取り入れ、地域への愛着を深めていきたい。

4 活動の流れと評価の計画（全12時間 本時 10/12）

	学習活動（時数）	知	思	態	評価方法
シーズン1	【課題の設定】【情報の収集】 ・通学路にどんな建物・場所・人がいるか想起し、まち探検①の計画を立てる。 ・上郷コミュニティーセンター訪問・まち探検①をし、マップに書き加えていく。（マップマスター） ・まち探検②の計画を立て、実施する。（ものマスター）				
	【整理・分析】 ・マップやカードを用いてまち探検で見たものを整理する。				
	【まとめ・表現】 ・これまで分かったことを発表する。				
	【課題の設定】【情報の収集】 ・遠方地域の探検の計画を立て、まち探検③をする。 【整理・分析】【まとめ・表現】 ・まち探検③で分かったことをマップに書き加えていく。 ・調べたことを発表する。				
シーズン2	【課題の設定】 ・前単元で訪問した場所の中でさらに深く知りたいことを出し合い、行きたい場所を選ぶ。（1） ・地域の人々のよさをウェビングマップに書く。（1） ・まち探検③の計画を立てる。（2）		①	① ②	・発言内容 ・学習シート ・ウェビングマップ ・振り返り
	【情報の収集】 ・まち探検③をし、地域の人にインタビューする。（はたらく人マスター）（4）	①		②	・学習シート ・記録写真・動画
	【整理・分析】 ・まち探検③で分かったことをウェビングマップに書き足す。（1） 本時 ・ウェビングマップをもとにして、協働して「かみごうカード」を作る。（1）	②	②	③	・ウェビングマップ ・かみごうカード ・振り返り
	【まとめ・表現】 ・これまで分かったことを学級内で発表し、共有する。（2）	③		③	・発言内容 ・行動観察 ・振り返り
シーズン3	【課題の設定】【情報の収集】 ・調べたことを誰にどのように伝えたいか考える。				
	【整理・分析】【まとめ・表現】 ・相手に合わせた表現方法でまとめる。 ・本校1年生に発表する。 ・オンラインで万世小学校の2年生に発表する。				

5 本時について（本時 10 / 12 時間）

（1）つきたい実践力

「かみごうカード」を作ることを通して、これまでのまち探検を経て分かった地域の人々のよさについて伝え合う。

（2）子ども主体の学びの姿

- ・すでに分かっていることを整理したウェビングマップを使って、カードを作ろうとしている。（主）
- ・地域の人々のよさについて、自分と友達の考えを比較しながら話し合っている。（協）
- ・地域の人々のよさを感じたり、思いに気付いたりしながら、活動を振り返っている。（自）

本時の展開

時間 (分)	○学習活動 ・予想される子どもの思考	支援等（・） 評価（◆）
5	<p>○本時の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はたらく人マスターになるために、4回目のまち探検に行ったよ。 ・いろいろなことをインタビューしてきたよ。 ・「かみごうカード」に書いて紹介したい。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 自分とともだちの「すてき」ポイントを出し合いながら、カードをつくろう。 </div> <p>○グループごとにカードに整理してまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <竹井グループ> A はまだ牧場の濱田さん B 佐藤畜産食肉加工センターの宍戸さん </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <川井①グループ> A 道の駅よねざわの坂野さん B セブンイレブンの佐藤さん </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <川井②グループ> A 和江山桃源院の英さん B 駐在所の武田さん </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <上新井田グループ> A 上郷郵便局の局長さん B 皆川さん </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <長手グループ> A ビックフィールドの太田さん B 手打ち蕎麦処北澤の北澤さん </div> <div style="margin: 5px 0;"> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・やさしく教えてくれたね。 ・北澤さんはそば打ちの名人だよ。 ・駐在所の武田さんはいろんな道具を使って安全をまもっているんだよね。 	<p>・通学路マスターになるために、①マップマスター ②ものマスター ③はたらく人マスターの順で学んできたことを確認する。（主）</p> <p>・グループの中で誰のカードを作るか分担しておく。（協）</p> <p>・ペア（トリオ）で1枚のカードを作成する。（協）</p> <p>・前時までに書いたウェビングマップの中の言葉から、自分の中で伝えたい「すてき」ポイントを選んで付箋に書いておく。それを出し合いながら話し合わせる。（主）</p> <p>・「すてき」だと思ふことをカードに書く。伝えたい思いの大きさを「すてきレベル」として、3・2・1の数値の欄に記入させる。（主）</p> <p>◆自分の気付きと友達の気付きを比べながら、地域の人々や場所のよさを伝え合っている。【思③】（発言内容・カード）</p>
25	<p>○整理したカードをグループ内で見せ合い、交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〇〇もあったよね。 ・ぼくもそうだと思う。 ・こっちの方がレベルが上じゃない？ 	<p>・振り返りの視点を提示する。（自）</p>
35	<p>○本時の学習を振り返り、次時への見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達の「すてき」ポイントと同じだった。 ・友達と違ったけど、どっちもいい「すてき」ポイントだったよ。 ・他のグループのカードも見てみて、集めたい。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>①自分と友達のすてきポイントを比べられたか。</p> <p>②友達のすてきポイントを聞いてなるほどなと思ったところはどこか。</p> </div>

